

2017年11月9日 ドイツ・ミュンヘン

2017年度 第4四半期決算

期間:2017年7月1日~9月30日

目標を達成 — 今年度もシーメンスが抜群な好業績

「全世界の私たちのチームが2017年度で、昨年度の歴史的な成功を上回る素晴らしい業績をあげました。ほとんどの事業はかつてないほど力強くなっており、デジタル時代に向けた準備もしっかり整っています。一部の事業に関しては構造的な課題に取り組む必要があり、2018年度にやるべき仕事は数多くありますが、市場の機会をうまく生かしながら、慎重に、厳密に、そして責任ある形で課題に対応していきます」と、シーメンスAG社長兼CEOのジョー・ケーザーは述べています。

2017年度

- 売上は4%増の830億ユーロ。受注は力強い857億ユーロ。前年エジプトで合計47億ユーロの大型受注があったパワー&ガス事業において市場が大幅な縮小を続けている中で、今年度の受注は前年の高水準からわずか1%の減少。出荷受注比率は1.03
- 為替の影響及びポートフォリオ効果を除く比較可能なベースで、売上は3%増、受注は2%減
- 産業関連事業の利益は8%増の95億ユーロ。ビルテクノロジー事業、デジタルファクトリー事業、モビリティ事業とプロセス&ドライブ事業の2桁成長が、パワー&ガス事業とシーメンス・ガメサ・リニューアブルエナジー社(SGRE)の減少幅を相殺し、全体の利益を押し上げた
- 産業関連事業の利益率が11.2%に到達し、大半の事業が目標範囲の到達または超過を達成
- 当期純利益は力強い業績に押し上げられ、11%増の62億ユーロ。基本的1株当たり当期純利益(EPS)は7.44ユーロで、十分に見通しの範囲内
- シーメンスは1株当たりの配当を0.10ユーロ引き上げ、3.70ユーロの配当を提案する予定

2017年度第4四半期

- 第4四半期の受注は大型受注の増加により、前年同期比16%増の237億ユーロ。売上は2%増の223億ユーロ、出荷受注比率は1.06
- 為替の影響及びポートフォリオ効果を除く比較可能なベースで、受注は16%増、売上は1%増
- 産業関連事業の利益は22億に減少。主な要因はパワー&ガス事業の利益の急減とSGREの損失
- 当四半期純利益・基本的EPSともに10%増。当四半期純利益は13億ユーロ、基本的EPSは1.57ユーロ

Siemens

(単位：100万ユーロ)	第4四半期		増減 (%)	
	2017年度	2016年度	実質	比較
受注	23,663	20,326	16%	16%
売上	22,299	21,953	2%	1%
利益				
インダストリービジネス	2,197	2,448	(10)%	
内、退職手当	(188)	(333)		
利益率				
インダストリービジネス	9.7%	10.9%		
退職手当を除く	10.5%	12.4%		
継続事業からの利益	1,263	1,182	7%	
内、退職手当	(221)	(349)		
純利益	1,293	1,176	10%	
基本1株当たり利益 (単位ユーロ)	1.57	1.42	10%	
フリーキャッシュフロー (継続事業と非継続事業)	2,376	3,570	(33)%	
ROCE (継続事業と非継続事業)	10.5%	11.9%		

- すべての産業関連事業で受注が増加。主に SGRE、エナジー・マネージメント事業とパワー＆ガス事業の大型受注の増加が全体の成長を押し上げた
- シーメンスグループの受注残は、IFRS 第 15 号に沿った数値で 1260 億ユーロ。
- ポートフォリオ効果による SGRE の急伸、デジタルファクトリー事業の 2 桁成長、モビリティ事業の明らかな伸びを含めて、産業関連事業のほとんどで売上が増加。予想通り、パワー＆ガス事業の市場が縮小する中で同事業の利益が継続的に大幅に減少
- ポートフォリオ取引の効果は、受注・売上に 4% のプラスを貢献。為替のマイナス影響が、受注の成長率に 4% 減、売上に 3% 減の効果を与えた。
- 産業関連事業の利益：ほとんどの産業関連事業で利益が改善したものの、競争が厳しい市場環境にあるパワー＆ガス事業の利益急減と、主に在庫除却による SGRE の損失がこの改善分を相殺し、利益を押し下げた。Healthineers は前年同期の高い利益をさらに上回り、デジタルファクトリー事業は短期サイクル事業の卓越した業績を含め、利益に大きく貢献
- 継続事業からの利益と当四半期純利益は増加。産業関連事業の利益が減少したが、本社項目、シーメンス・リアルエステートと法人税等を含めた産業関連事業以外のプラス要素がその減少幅を上回った
- 産業関連事業からのフリーキャッシュフローは、2016 年度第 4 四半期の高い水準だった 40.34 億ユーロから 28.37 億ユーロに減少。主な減少要因はパワー＆ガス事業においてカスタマープロジェクトの支払いが減少したこと
- 主にメンターグラフィックス社の買収と SGRE の合併により平均投下資本が大幅に増加し、当四半期純利益の増加幅を上回った結果、ROCE は減少。
- 2017 年 9 月 30 日時点でのシーメンス企業年金及び類似債務は 96 億ユーロ (2017 年 6 月 30 日時点では 98 億ユーロ)。

将来の業績に関する見通し

このリリースには、過去の出来事ではなく、将来の業績に関する見通しや情報が含まれています。「期待する」、「予想する」、「意図する」、「計画する」、「信じる」、「模索する」、「推定する」、「予定する」といった言葉やその類義語は、将来の業績に関する見通しに該当する可能性があります。こうした見通しは、当社の現時点での予測と一定の前提に基づいており、したがって、特定のリスクや不確実な要素に左右されることがあります。シーメンスの事業活動、事業戦略、業績に影響を及ぼす要素はさまざま、その多くはシーメンスには制御不可能なものです。そのため、シーメンスグループの実際の業績、活動、成果は、こうした将来の業績に関する見通しの記述や暗示とは大きく異なる可能性があります。特定の不確実な要素には、景気や取引状況の変化、為替動向や金利の変化、他社による競合製品・技術の導入、シーメンスグループの新しい製品・サービスの不振、事業戦略の変化やその他のさまざまな要素の変化などが含まれます。万一、これらのリスクや不確実な要素が現実のものになれば、実際の業績は将来の業績の見通しの予想、確信、予測、期待、意図、計画、予測とは大きく異なる可能性があります。シーメンスは、将来の業績に関する見通しの作成後に発生する出来事に照らして見通しを更新、修正する意図はなく、またそうした義務を負うものではありません。

【参考資料】

本資料はシーメンス AG(ドイツ・ミュンヘン)が 2017 年 11 月 9 日(現地時間)に発表したプレスリリースの一部を日本語に抄訳したものです。本資料の正式言語はドイツ語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。原文プレスリリースおよび関連資料は以下の URL よりご覧いただけます(英文)。

<https://www.siemens.com/press/pool/de/events/2017/corporate/2017-q4/2017-q4-earnings-release-e.pdf>

報道関係からのお問い合わせ先:

シーメンス株式会社

コミュニケーション部 今村

E-mail: masako.imamura@siemens.com